

道徳学習指導案

指導者 才谷 瑛一

- 1 日 時 平成24年11月 1 日 (木)
- 2 学 年 第 6 学年 2 組 26名 [6 年 2 組教室]
- 3 主 題 名 生活を見直して [1－ (1) 節度ある生活態度] [4－(1)公徳心]
- 4 資 料 名 「けいたい電話を持たせない」(出典「明日をめざして」東京書籍)

5 主題設定の理由

- 健全な社会生活を営むためには、日々よりよい生活を求めて自分を振り返り、望ましい生活習慣を積極的に築き上げていく態度を養うことが大切である。そのためには、規則正しい生活の意義や必要性を理解し、自ら節度を守り自制する心や態度を育むことが重要となる。

文部科学省による「子どもの携帯電話等の利用に関する調査」(平成21年5月15日)によると、6年生児童の携帯電話普及率は、24.7%となっている。しかし、最近の調査によると関東の5・6年生女子では、59.0%が所持していると報告されている。また、携帯電話所有の最も多い理由として、「保護者から持つように勧められたから」(46.7%)と示している。このことから、携帯電話について考える場を保護者とともに設定することは、価値があると考えられる。

今日、携帯電話やインターネットの普及は、児童の生活に多大な影響を及ぼしている。特に、電子メール及びインターネットへの接続は、便利な反面、依存症やメールや掲示板による陰湿ないじめ、ネット犯罪など、深刻な問題を引き起こしている。児童をそうした危険から守るため、携帯電話を持たせないようにしようという声が実際に上がっている。本資料では、これらの声を取り上げ、児童自身が節度ある生活や社会生活上のきまりについて考えるようにすることを意図している。

- 本学級の児童の中で携帯電話を持っている児童は半数いる。また携帯電話を使用した経験のある児童はほぼ全員である。情報モラルについては、インターネットの使い方等で学習しており、料金がかかること、情報が流れ出るおそれがあること、迷惑メールがあることなどを理解している。中には、実際に携帯電話を使用して夜遅くまで使用してしまったり、高額な請求が送られてきて困ったりした経験を持つ児童もいる。しかし、携帯電話を取り巻く問題が自分とは関係ないと考えている児童も多いと予想する。

児童の日々の生活の様子を観察すると、周囲の言動に流され、安易な行動を選択してしまうことが多々ある。これらの経験から学級で話し合い、節度や社会生活上のきまりを守って行動することの大切さについては学んできているが、行動するところまで至っていない。自己中心的な考えから相手の立場に立てないことや先のことを考えずに行動することが原因と考える。

- 指導に当たっては、まず、携帯電話の便利さと問題点について話し合い、携帯電話には光と影の部分があることに気付かせる。

展開前段では、副読本から「けいたい電話を持たせない」という4つの資料を分割提示し、「けいたい電話を持たせない」という声に対して感想を交流する。それから「けいたい電話を持たせ

ない」という声に対して賛成か反対のどちらかの立場に立たせ、話し合わせる。どの資料のどの場面も「わかってはいるけど、ついついやってしまう」実態があることを知らせ、携帯電話を使う際の心の弱さに目を向けていく。

展開後段では、携帯電話の使い方について考えていく。前段で確認した心の弱さと向き合い、携帯電話を便利で安全なものとして使っていくためには、どうしたらよいか話し合わせる。

終末は、教師の説話とする。家族と携帯電話の使い方の約束を作ったことで安全に活用することができた事例を紹介する。

6 準備物

資料から拡大コピーした4つの意見・ワークシート・パソコン・プロジェクター

7 本時のポイント

携帯電話所持について「賛成」「反対」の立場を明確にさせるとともに、グループで話し合いをさせ、その根拠をワークシートに書かせる。そうすることにより、一人一人が自分の意見を持ち、みんなの前で主張できると考えられる。さらに、自分の意見と友達の意見との違いも明確になるため、討論が活発になると考えられる。

8 ねらい

- 携帯電話の扱い方を考えることを通して、心の弱さに気付き、きまりを守ったり自分の生活を考えて節度ある生活を心がけたりしようとする態度を養う。

9 指導過程

段階	学 習 活 動	主な発問と児童の心の動き	指導上の留意事項
導 入	1 携帯電話データをもとに、携帯電話の便利さについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「24.7」と「59.0%」は何の数字だと思いますか。 ○ 携帯電話の便利さには、どんなことがありますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・いつでも連絡が取れる。 ・友だちとメールができて楽しい。 ・調べ物ができて勉強に役立つ。 ○ 便利ではないこともありますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・架空請求がある。 ・ついつい使いすぎてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2つの数値を比較することで携帯電話を所持する小学生が増加していることに気付かせる。 ○ 便利になってきていること、親の心配を解消することなど、携帯電話を所持する小学生が増加する背景について気付かせる。 ○ 携帯電話には危険な面もひそむことに気付かせる。

展開前段	<p>2 「けいたい電話を持たせない」を読んで話し合う。</p>	<p>○なぜ、「携帯電話を持たせない」という意見が出ているのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活が乱れるから。 ・親子の会話が少なくなるから。 ・友達とトラブルになるから。 ・危険だから。 ・人間性や社会性が育たないから。 <p>○「携帯電話を持たせない」という声に、あなたは賛成ですか。反対ですか。</p> <p>【賛成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生には早すぎるし必要ない。 ・約束を守れない人は使ってはいけない。 ・自分は大丈夫だと思っけていても、ついついやり過ぎてしまう。 <p>【反対】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・便利なので絶対に使いたい。 ・大人だって使っている。 ・約束を守るように工夫すればいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの意見を分割提示し、イラストと要旨の書いた紙を黒板に貼る。 ○ 用語「BBS・ブログ」を解説する。 ○ 携帯電話に潜む危険性について補足説明する。 ○ 携帯電話の「便利さ」と「危険性」を対比して板書する。 ○ 賛成・反対の立場を明確にさせ、それぞれの理由をワークシートに書かせた後、発表させる。 ○ 反対の立場であっても、携帯電話の便利さは否定できない。便利さを確認した後、展開後段に移る。
	<p>3 携帯電話と賢くつき合う方法について話し合う。</p>	<p>◎携帯電話を便利な道具として安全に使うためには、どんなことが大切だと考えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使いすぎないように、家族でルールを決めたらいい。 ・相手のことを考えて、マナーを守ったらいい。 ・何かあったら家の人と相談して解決したらいい。 ・自分だけでは、止められないときもあるから、相談したり、約束を作ったりして、おうちの人と一緒に使うようにしたらいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な意見が出ると予想される。肯定的に受け止めていく。 ○ 「わかってはいるけど、やめられずについついしてしまった経験」について話し合いながら、携帯電話の危険性に気付かせる。 ○ 解決策を見つけて終わるのではなく、心の弱さを見つめながら話し合いを進めていき、携帯電話を扱うときは自分にも常に危険と隣り合わせであるという危機感を感じることでできるように、切り返していく。
終末	<p>4 教師の説話を聞く。</p>	<p>○家族で携帯電話を使っている場所と時間を決めることによって安全にしようすることができた事例や困ったときに親に相談することで解決することができた事例を紹介する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 節度を守ることで便利な道具として安全に使えた事例があることを知らせる。 ○ 困ったとき親に相談したことで解決策を見つけることができた事例を紹介する。